

校長室だより

日本福祉大学付属高校 2014年6月5日

万人の福祉のために
真実と慈愛と献身を



勉強に部活に学校祭準備に頑張ろう！

先月は生徒諸君が、試合に試験にと頑張る姿を見ることができました。試合で良い結果を収めた部は、全校集会で表彰を行いました。(陸上部5名県大会出場、ソフトテニス女子美浜町民大会優勝、卓球部美浜町春季卓球大会準優勝と3位など)よく頑張りました。中旬には中間試験が行われましたが、下校時まで居残りをして勉強する姿も見られました。特に1年生の諸君、初めての定期試験はどうでしたか。中間試験の結果が手元に届く頃です。良かった人も良くなかった人も結果に一喜一憂するのではなく、次の更なる飛躍の力にしていましょ。大切なことは、試験のためだけの勉強にはならないということです。3年生にとっては、試験結果が大学などへの推薦の可否につながるの、関心はそこに集まるのは当然ですが、学ぶことの楽しさや知ることの喜びを味わってほしいと思います。勉強が好きになれば、人に言われなくても自分で進んでやるようになるものです。

6月は様々なとりくみが本格的に始まる時です。すでに生徒議会では9月の学校祭の任務分担について話し合われています。各学級では任務に続き、展示や舞台などの発表について熱い話し合いが続いています。どんな発表になるのか今から楽しみです。勉強も定期試験が終わったからといって力を抜いてはいけません。授業は真剣に臨みましょう。(3年生は言うまでもないことですが)毎日自宅学習する習慣になっていますか。宿題だけやるのではなく、予習や復習をきちんと行いましょう。「継続は力なり」です。

大学図書館が使えます

本校生徒の学習などで大学の図書館が利用できるようにと要望を出していましたが、6月から認められることになりました。自習の他、本を借りることもできます。利用場所や時間が決められていますので、担任の先生から案内のあった方法で、利用してください。高校の図書室にも自習のブースがありますが、学習スペースが広がることで、より積極的な学びが期待されます。

★Silentゾーン(第3個人学習コーナー)



★Quietゾーン(第1個人学習コーナー)



6月6日は創立記念日です

6月6日は学園の創立記念日です(休校です)。本学園を創立された鈴木修学先生は、ハンセン病の患者さんや戦争で親を亡くし孤児となった子どもたちなどを救済され、「日本の福祉を築いたお坊さん」として知られています。本校の初代校長でもあります。人の命が軽んじられている風潮の強い現代社会の中、ますます先生の教えは光を放っていると言えます。その精神を私たちも引き継ぎたいものです。

PTA懇親行事にご参加を！

すでにご案内していますが、6月21日(土) PTA懇親行事(行先:京都)があります。まだ余裕があるようです。担任まで。

6月の予定

- 3日(火) 球技大会
 - ⑥日(金) 創立記念日
 - 7日(土) 福祉大学学部説明会(3年)
 - ⑧日(日) 学園60周年記念式典
英検一次試験
 - 14日(土) 公開見学会 PTA第1回役員会
ゆりのきの会
 - 21日(土) PTA懇親行事
 - 19日(木) 一学期末試験時間割発表
 - 6/26~7/1 一学期末試験
- * 下旬にはメキシコから短期留学生在が来校します。

PTA 総会出席ありがとうございました

5月31日(土) PTA総会・後援会総会・角野栄子氏講演会が行われました。和太鼓部が力強い演奏でオープニングを飾り、総会行事が執り行われました。会長さん始め新役員の方々の紹介もありました。よろしくお願ひします。続いて後援会総会が行われ、事業報告・事業計画などが承認されました。またPTA・後援会・同窓会の三者共催による角野栄子さんの講演会「魔法はひとつ」は一般の方々にも参加していただき、盛況の内に終えることができました。参加いただきました保護者の皆様、どうもありがとうございました。

ちよつといい話

(その1) 卒業生活躍「鼓童」鶴見君、「志多ら」鬼頭君演奏会

本校を3年前に卒業し、現在「鼓童」に所属している鶴見龍馬君が、5月25日、故郷の東海市で凱旋公演を行うことになり、私も見に行きました。鼓童は新潟県佐渡島を拠点に、和太鼓を中心とした伝統芸能にとりくみ、日本だけでなく海外でもよく知られ、和太鼓のトップに君臨する集団です。鶴見君は在学中、和太鼓部楽鼓で活躍していましたが、いっそうたくましくなって私たちの前に姿を見せてくれました。また31日には「志多ら」の演奏会が半田であり、卒業生鬼頭孝幸君が出演しました。後輩にとっても大きな励みになりますね。



(その2) 「誰かのために」 一億円募金活動にとりくみ

学内フェス実行委員会による中間テストの最終日、5月23日に知多半田駅前で一億円募金活動を行いました。一億円募金とは、様々な事情で金銭的に私学に通うのが厳しい人たちに無利子で貸し出すための募金です。当日は16名で一時間程度行い、約4000円集まりました。何のための募金なのかを尋ねてこられる人が多く、生徒たちはきちんと主旨を話し、意図を理解したうえで募金してくれた人が多かったです。(担当教員談)

(その3) 感想文が掲載されました

4月下旬に「福祉社会入門」(2年生対象)の授業で、社会福祉法人昭徳会・駒方寮の柴田氏から学園創立者鈴木修学先生の人となりや業績についてお話をいただきましたが、このほど「法音」(法音寺発行)6月号に15名の生徒諸君の感想が掲載されました。「(教育方針の)どんな子にも体罰を与えてはいけません。ほめて伸ばす。」これは今の日福の教育方針の『どの子も伸ばす』に続いていると思いました。」(Kさん)「修学先生は誰よりも先にほめて伸ばすということを大切にしていたことを学び、今の日本が体罰禁止になったことには修学先生の理念が深くかかわっていることがわかりました。」(Oさん)など素敵な感想でした。



(その4) 「アナと雪の女王」再演決まる！手話コーラスとコラボで

1年オリエンテーション合宿の合唱コンクールでは、1年D組が「アナと雪の女王」を歌って優勝しましたが、その歌声を聞いて感動した私が、これだけでおしまいにするにはもったいない、どこかでもう一度聞かせて欲しいとお願いをしました。その結果、今日14日(土)の公開見学日に、再度歌声を披露してくれることになりました。当日はボランティア部の人たちも一緒に手話コーラスを披露してくれます。楽しみにしています。頑張ってください。

編集後記

- 6月と言えば、茨木のり子さんの詩「6月」を思い浮かべます。「・・・どこかに美しい人と人の力はないか 同じ時代をともに生きるしたしさとおかしさとそうして怒りが 鋭い力となってたちあられる」
- 最近の新聞に「日本の若者は自己評価が低く、将来を悲観している」という記事が。「自分自身に満足している」と答えたのは米国86.0%(1位)、韓国71.5%(6位)に対し、日本は45.8%と「圧倒的に低かった」。「自分にも長所がある」と答えたのも日本は68.9%と最下位とのこと。若者だけの責任にはしてはいけませんね。教育や社会の責任を感じます。
- 花が一斉に開くように、様々なとりくみが花開こうとしています。5/31介護職員初任者研修の開講式、文化祭の出し物の話し合い、3年は福祉大学の学部説明会など。様々な体験が、自己肯定感を高め、自信をつけることになるのではと思います。様々なことにチャレンジをしてください。